

セラミックス材3D成形

プリンターで、加工微細に

写真化学

写真化学（京都市）は、3Dプリンター事業の仕組み。3Dプリンター
同社が開発した国内初の販売部門を切り離し、新1ではマイクロメートル
セラミックス材料を成形で会社「エスケーフライン」レベルでの微細加工がで
きる3Dプリンターを販（滋賀県草津市）を設立きる。金型や切削工具で
売する新会社を立ち上げた。技術面で協力関係は難しかった加工が可能
た。微細な加工ができるにある大阪大学傘下の大になり、セラミックスを使
ため、従来はセラミックス大阪大学ベンチャーキャピえる範囲が広がると期待
材料では作れなかった部タル（大阪府吹田市）かされる。
品なども製造できるのがら7800万円の出資を樹脂や金属を成形する
特徴。電子部品や医療機を受けた。3Dプリンターは普及し
器での採用を目指す。ま写真化学が開発した3ているが、扱いが難しい
ず顧客から部品の開発やDプリンターはセラミックスセラミックスの3Dプリン
製造を受託し、その後装ク材料を塗り重ねながらターは一部の海外企業が
置の販売につなげる。レーザー光を当てて固め手掛けるだけだった。